



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年7月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2747 URL https://www.hokuyu-lucky.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 高橋 徹 (TEL) 011-558-7000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	9,039	0.0	△43	—	△54	—	△44	—
2026年2月期第1四半期	9,039	1.5	△36	—	△43	—	△43	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	△34.98	—
2026年2月期第1四半期	△34.52	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期第1四半期	17,581	5,791	32.9	4,582.46
2026年2月期	17,385	5,916	34.0	4,680.89

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 5,791百万円 2026年2月期 5,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2027年2月期	—				
2027年2月期(予想)		0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,700	1.2	160	180.6	140	195.4	77	244.9	60.92
通期	37,600	1.1	360	56.8	320	43.9	190	75.4	150.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	1,264,640株	2026年2月期	1,264,640株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	725株	2026年2月期	725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	1,263,915株	2026年2月期1Q	1,263,915株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第1四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2026年3月1日～2026年5月31日)におけるわが国経済は、賃上げの継続や雇用環境の改善を背景に、個人消費は緩やかな持ち直しの動きが見られました。また、訪日外国人観光客の増加に伴うインバウンド需要も引き続き堅調に推移し、サービス消費を中心に経済活動を下支えております。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高止まりに加え、物価上昇による消費者の節約志向、為替変動や海外情勢の不安定化など、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状態が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、業種、業態を超えた競争が一層激化する中、物価上昇の継続によるお客様の生活防衛意識の高まりや価格に対する選別意識の強まりなど、消費行動の変化が進んでおります。また、人件費や物流費をはじめとした諸経費の上昇に加え、原材料価格の高止まりなども収益面に影響を及ぼしており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は2027年2月期から2029年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティラッキー」(高品質商品)、「ナチュラルラッキー」(オーガニック食材など)の二つに重点を置いております。これにより、お客様に品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築いてまいります。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2026年5月末で65.0%となり、前年同月末の68.0%から3.0%低下いたしました。今後もキャッシュレス決済を含めた多様な決済手段の提供を通じて、お客様の利便性向上に取り組んでまいります。ファミリー顧客層の深耕につきましては、フードコーディネート部を中心とする新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買いやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。また、2024年よりdポイントを導入し顧客層の基盤強化を図っております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中することでコスト削減に取り組んでおります。

⑤につきましては、営業推進室によるオペレーション効率の分析を通じて、商品の自動発注をはじめとした様々な業務の自動化及び労働時間の最適化に取り組んでおります。また、2024年から開始した全店へのセミセルフ/フルセルフレジの導入及びキャッシュレス決済端末の入れ替えが完了し、この設備更新により、待ち時間の短縮及び人件費の最適化に寄与しております。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善に努めました。

当第1四半期累計期間の売上高は90億39百万円、前期比100.0%、0百万円の増加となり、営業総利益は24億97百万円と前期比24百万円の減少となり、営業総利益率は27.6%と前期に対して0.3ポイント減少いたしました。販売費及び一般管理費は減価償却費が14百万円増加、販売手数料が2百万円増加、配送費が3百万円増加いたしました。一方で水道光熱費が32百万円減少、給料及び手当が5百万円減少いたしました。合計では、25億41百万円と前期比17百万円減少いたしました。期間の経営成績は、売上高は90億39百万円(前期比100.0%)、経常損失は54百万円(前年同期は経常損失43百万円)、四半期純損失は44百万円(前年同期は四半期純損失43百万円)となりました。

当第1四半期累計期間における設備の状況につきましては、店舗の開店及び閉店は無く、2026年5月31日現在

の店舗数は、33店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して1億96百万円増加し175億81百万円であります。

その主な要因は、未収入金が1億36百万円減少したものの、売掛金が1億72百万円増加、現金及び預金が1億69百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して3億21百万円増加し117億89百万円であります。

その主な要因は、長期借入金が1億23百万円減少したものの、買掛金が3億26百万円増加、預り金が1億22百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して1億24百万円減少し57億91百万円あります。

その主な要因は、その他有価証券評価差額金が17百万円減少、繰越利益剰余金が1億7百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月10日の「2026年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,658	855,435
売掛金	1,061,319	1,233,399
商品及び製品	1,748,703	1,828,155
原材料及び貯蔵品	35,160	32,854
前払費用	86,447	98,217
未収入金	472,782	336,007
その他	9,684	6,556
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,099,488	4,390,358
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,509,787	12,522,587
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,255,608	△8,332,790
建物(純額)	4,254,178	4,189,797
構築物	813,922	813,922
減価償却累計額及び減損損失累計額	△683,236	△687,954
構築物(純額)	130,685	125,967
機械及び装置	5,597	5,597
減価償却累計額	△2,104	△2,294
機械及び装置(純額)	3,492	3,303
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	459,295	464,977
減価償却累計額及び減損損失累計額	△436,050	△439,341
工具、器具及び備品(純額)	23,244	25,635
土地	6,066,247	6,066,247
リース資産	1,611,542	1,666,654
減価償却累計額及び減損損失累計額	△756,827	△835,911
リース資産(純額)	854,714	830,743
有形固定資産合計	11,332,564	11,241,694
無形固定資産		
ソフトウェア	27,201	24,769
のれん	11,414	10,579
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	56,844	53,577
投資その他の資産		
投資有価証券	510,512	471,599
出資金	479	479
長期前払費用	38,093	37,360
繰延税金資産	275,259	316,495
長期預金	100,000	100,000
差入保証金	971,765	970,232
投資その他の資産合計	1,896,110	1,896,168
固定資産合計	13,285,519	13,191,440
資産合計	17,385,007	17,581,798

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,833,148	3,159,424
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	491,957	489,580
リース債務	342,308	348,790
未払金	468,347	388,418
未払費用	288,584	346,607
未払法人税等	70,131	15,099
未払消費税等	75,691	95,945
前受金	19,008	19,099
預り金	545,917	668,722
賞与引当金	78,911	158,879
流動負債合計	5,764,006	6,240,566
固定負債		
長期借入金	3,793,685	3,670,373
リース債務	667,439	634,388
退職給付引当金	819,729	821,312
長期預り保証金	236,855	235,571
資産除去債務	165,388	166,090
長期未払金	21,650	21,650
固定負債合計	5,704,747	5,549,386
負債合計	11,468,754	11,789,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	2,203,057	2,095,650
利益剰余金合計	4,668,057	4,560,650
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,659,025	5,551,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	257,227	240,226
評価・換算差額等合計	257,227	240,226
純資産合計	5,916,253	5,791,845
負債純資産合計	17,385,007	17,581,798

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	9,039,518	9,039,846
売上原価	6,579,458	6,603,753
売上総利益	2,460,060	2,436,092
営業収入		
不動産賃貸収入	62,548	61,873
営業収入合計	62,548	61,873
営業総利益	2,522,608	2,497,965
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	81,180	78,680
配送費	212,606	216,298
販売手数料	38,404	40,461
給料及び手当	434,622	428,854
賞与引当金繰入額	81,155	79,968
退職給付費用	16,365	16,613
雑給	604,605	607,445
水道光熱費	260,387	228,033
減価償却費	147,722	162,668
地代家賃	164,837	164,149
その他	516,999	518,682
販売費及び一般管理費合計	2,558,887	2,541,855
営業損失(△)	△36,279	△43,889
営業外収益		
受取利息	1,222	1,185
受取配当金	5,181	6,672
受取事務手数料	1,347	1,347
雑収入	4,313	6,893
営業外収益合計	12,064	16,099
営業外費用		
支払利息	16,698	21,574
雑損失	2,785	5,077
シンジケートローン手数料	151	234
営業外費用合計	19,634	26,886
経常損失(△)	△43,849	△54,675
特別損失		
減損損失	1,453	6,743
固定資産除売却損	7,633	—
特別損失合計	9,086	6,743
税引前四半期純損失(△)	△52,936	△61,419
法人税、住民税及び事業税	6,893	2,116
法人税等調整額	△16,206	△19,323
法人税等合計	△9,312	△17,207
四半期純損失(△)	△43,624	△44,211

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)及び当第1四半期累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

当社は、生鮮食料品を中心に一般食料品及びファミリー衣料品を販売の主体とするスーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	146,887千円	161,832千円
のれんの償却額	835	835
合計	147,722	162,668